

ことわざの意味①

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

後の祭り



おかれた環境や人間関係の影響で、人は良くも悪くもなるということ

噂をすれば影



なにかしようと思いついた時に、すぐに実行したほうが良いということ

朱に交われば赤くなる



人の噂話をしていると、当人がその場に現れるものだということ

思い立ったが吉日



どんな小さな弱いものにも相応の意地や思慮があるので、粗末に扱ってはいけないということ

一寸の虫にも五分の魂



時期を逃して無意味になり、今さら気づいても取り返しがつかないこと

ことわざの意味②

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

雨降って地固まる



思いがけない災難にあうということ

犬も歩けば棒に当たる



価値のある人物や物は、時間が経過して条件がが変わっても、それなりの価値があるということ

海老で鯛を釣る



争いごとや悪いことがあった後に、安定した良い状態になること

親の心子知らず



親の気持ちを理解せず、勝手な振る舞いをする。親になって初めて親の気持ちが理解できるということ

腐っても鯛



あまりお金や労力を使わずに大きな得をすること

ことわざの意味③

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

石の上にも3年



● 目立たないところで重要な役割を果たしてくれている人のこと

井の中の蛙



● 普段は信仰心を持っていない人が、困った時にだけ神に祈って頼りにすること

縁の下の力持ち



● 身の回りの小さな世界しか知らないこと

蛙の子は蛙



● どんなに大変なことでも努力を続けていれば報われるということ

苦しい時の神頼み



● 子供のころは親と違ったように見えても、最終的には親に似たり、よく似た道を選んだりすること

ことわざの意味④

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

急がば回れ



ただでさえ強い人に何か良い条件が加わり、さらに強さを増すこと

魚心あれば水心



自分の心の持ち次第で、相手も自分に好意を持ってくれるということ

鬼に金棒



失敗したと思っていたことが、思いがけず良い結果をもたらすこと

亀の甲より年の功



急いでいる時こそ、遠回りでも安全な道を行った方が確実に早いということ

怪我の功名



年長者には長年の経験があり、若者より優れた知識や知恵を豊富に持っていることのたとえ

ことわざの意味⑤

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

馬の耳に念仏



好きなことは工夫したり勉強したりして一生懸命取り組むので、どんどん上達していくこと

溺れる者は藁をもつかむ



すでにしてしまったことを後から後悔しても、もう取り返しがつかないこと

可愛い子には旅をさせよ



注意されたり意見を言われたりしても聞く耳を持たず、意味がないこと

後悔先に立たず



とても苦しんだり困ったりしている人は、どんなに頼りないものにもすがりついて助けを求めること

好きこそ物の上手なれ



子供を手元においてあまやかさずに、世間に出して苦労を経験させた方が良いということ

ことわざの意味⑥

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

弘法も筆の誤り



● 良いと思ったことはためらわずに、すぐに実行するべきだということ。

雀百まで踊り忘れず



● ふたつのものを比べた時に、あまりにも違いすぎて比較にならないことのたとえ。

善は急げ



● どんな名人や得意な人でも間違えることがあるということ。

月とすっぽん



● 危険な事や災難に自分から進んで飛び込んでいくこと。自らを滅ぼすような行いに身を投じること。

飛んで火にいる夏の虫



● 子供の時に覚えた習慣は、年をとっても覚えているということ。

ことわざの意味⑦

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

背に腹は代えられぬ ●

● 物事は人に教わることも大切だが、自分で直接経験していくことでしっかりと身につくということ。

千里の道も一歩から ●

● 重要なことを達成するために、やむを得ず他のことを犠牲にするということ。

鉄は熱いうちに打て ●

● どんなに大きな目標でも最初の一歩から始めて、一歩ずつ確実に積み重ねることが大切だということ。

無い袖は振れない ●

● 手元にはないものはどうしようもない。持っていないものは出してあげたくても出せないということ。

習うより慣れよ ●

● なにか物事を行うには適切な時期があり、それを逃してはならないということ。

ことわざの意味⑧

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

立つ鳥跡を濁さず



悪いことが起きたときに更に悪いことが重なって起こること。

灯台もと暗し



実力や優れた才能のあるものは、軽々しくそれを表にださないということ。

泣きっ面に蜂



自分のことや身近にあることは、かえって気づきにくいということ。

二度あることは
三度ある



二度も同じようなことがあると、さらにもう一度続けて同じことが起こる可能性が高くなるということ。

能ある鷹は爪を隠す



自分の居た場所を立ち去る時は、きちんと後始末をして見苦しくないようにしておくこと。

ことわざの意味⑨

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

棚から牡丹餅



時間は貴重で有効なものだから、大切に使うべきだということ。

時は金なり



欲張って二つのことを一緒に得ようとすると、結局は上手くいかず両方とも得られなくなること。

無くて七癖



どんな苦労や苦痛も、それが過ぎると忘れてしまうということ。

二兎を追う者は
一兎も得ず



思いがけないところから幸運がめぐって来たり、大変な思いをせずに良いものを手に入れること。

喉もと過ぎれば
熱さを忘れる



誰にでも癖はあるので、無いように見える人でも七つくらいは癖があるということ。

ことわざの意味⑩

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

塵も積もれば
山となる



取らぬ狸の皮算用



七転び八起き



猫に小判



暖簾に腕押し



失敗を何度も繰り返しても、あきらめずに奮起することのたとえ。



自分の行動に対して相手の反応や手ごたえがなく、張り合いがないこと。



どんな苦労や苦痛も、それが過ぎると忘れてしまうということ。



どれほど貴重な高価なものでも、持ち主がそれを知らなければ何の値打ちもないこと。



まだ手に入っていない不確かな利益に期待をかけて、計画を進めてしまうこと。

ことわざの意味⑪

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

寝耳に水



風流なことよりも食べるほうが大事。
見た目や美しさよりも実用性を重視するということ。

花より団子



どんなに立派なものを与えても、価値が分からない者には意味がないということ。

人の噂も七十五日



思いがけない出来事が突然起こって驚くこと。

豚に真珠



人の噂や評判は一時的で長くは続かない。人は忘れっぽいので放っておけば良いということ。

待てば海路の日和あり



今は思うようにいなくても、焦らずタイミングを待っていれば、そのうち良いことがやってくるということ。

ことわざの意味⑫

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

早起きは三文の得



● 趣味などで下手にもかかわらず、その物事が好きで熱心に続けていること。

人のふり見て
我がふり直せ



● 早く起きれば健康にも良いし、何かしら良いことがあるという意味。

下手の横好き



● 努力や援助が少なく、効果がほとんど期待できないことのたとえ。

ミイラ取りが
ミイラになる



● 他人の行いを参考にすることで、自分の行いを見直し、悪いところを改めるよう心がけるということ。

焼け石に水



● 人を探しに行った人が探される立場になる。相手を説得するつもりが、相手に説得されてしまうことのたとえ。

ことわざの意味⑬

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

火のない所に
煙は立たない



仏の顔も三度まで



身から出た錆



安物買いの銭失い



笑う門には福来る



● 自分の悪い行いが原因で、苦しんだり
大変な目にあったりすること。

● 早く起きれば健康にも良いし、何かし
ら良いことがするという意味。

● どんなに心の広い温厚な人でも、何度
もひどいことをされれば、腹を立てる
ということ。

● いつも明るくにこやかに暮らしている
人のところには、自然と幸せがやって
くるということ。

● 安いからと物を買っても、質が悪かっ
たり役に立たなかったりで、高い物を
買うより損をしてしまうということ。

ことわざの意味⑭

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

百聞は一見にしかず ●

● 役に立つような忠告や言動は聞くのが
つらいものであるが、自分自身のため
になるということ。

負けるが勝ち ●

● 幼いころの性格は、年をとっても変わ
らないということ。

三つ子の魂百まで ●

● 耳で何度も聞くより、たった一度でも
自分の目で見て確かめるほうがよく分
かるということ。

良薬は口に苦し ●

● 物事は、あれこれと議論するよりも、
証拠をしめせばはっきりするといふこ
と。

論より証拠 ●

● 無理に相手と争うより、あえて負ける
ことで自分に有利になるということ。

ことわざの意味⑮

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

転ばぬ先の杖



ひとりでは普通能力しかなくても、
3人集まれば素晴らしいアイデアや解
決策が出てくるとのこと。

猿も木から落ちる



どんな名人でも失敗することがあると
いうこと。

三人寄れば
文殊の知恵



思いがけないことやありえないことが
起こるとのこと。

瓢箪から駒



身なりを綺麗に整えれば、どんな人
でも立派に見えるということ。

馬子にも衣装



対策や準備をしっかりとしておくこと
で、将来起こりうる問題を防ぐことが
できる。

ことわざの意味①⑥

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

親しき仲にも
礼儀あり



● 知らなければ、腹を立てたり悩んだりせず、穏やかでいられるということ。

知らぬが仏



● 何事も、その専門家にまかせた方がうまくいく。素人はかなわないということ。

餅は餅屋



● 困っているときに、さらに困ったことが重なって起きてしまうこと。

安物買いの銭失い



● どんなに親しい間柄でも、マナーを大切にし、相手を尊重しないと良い関係を保てなくなるということ。

弱り目に祟り目



● 安いからと物を買っても、質が悪かったり役に立たなかったりで、高い物を買うより損をしてしまうということ。

ことわざの意味⑪

「ことわざ」と「ことわざの意味」を線で繋いでください

禍を転じて幸となす ●

● 一度成功したからと言って、次も成功するとは限らないということ。

柳の下のだじょう ●

● 若い時に身につけた知識や技術は、時間が経っても忘れずに残っているということ。

頭隠して尻隠さず ●

● 悪いことや後ろめたいことを隠したつもりでも、隠しきれず、何かしら見えてしまっているということ。

昔取った杵柄 ●

● 身にふりかかる災難を活用して、自分に役立つものに利用すること。不幸が一転して幸福に転じること。

命あっての物種 ●

● 何事も生きていることが前提で、死んでしまっては何もできないということ。